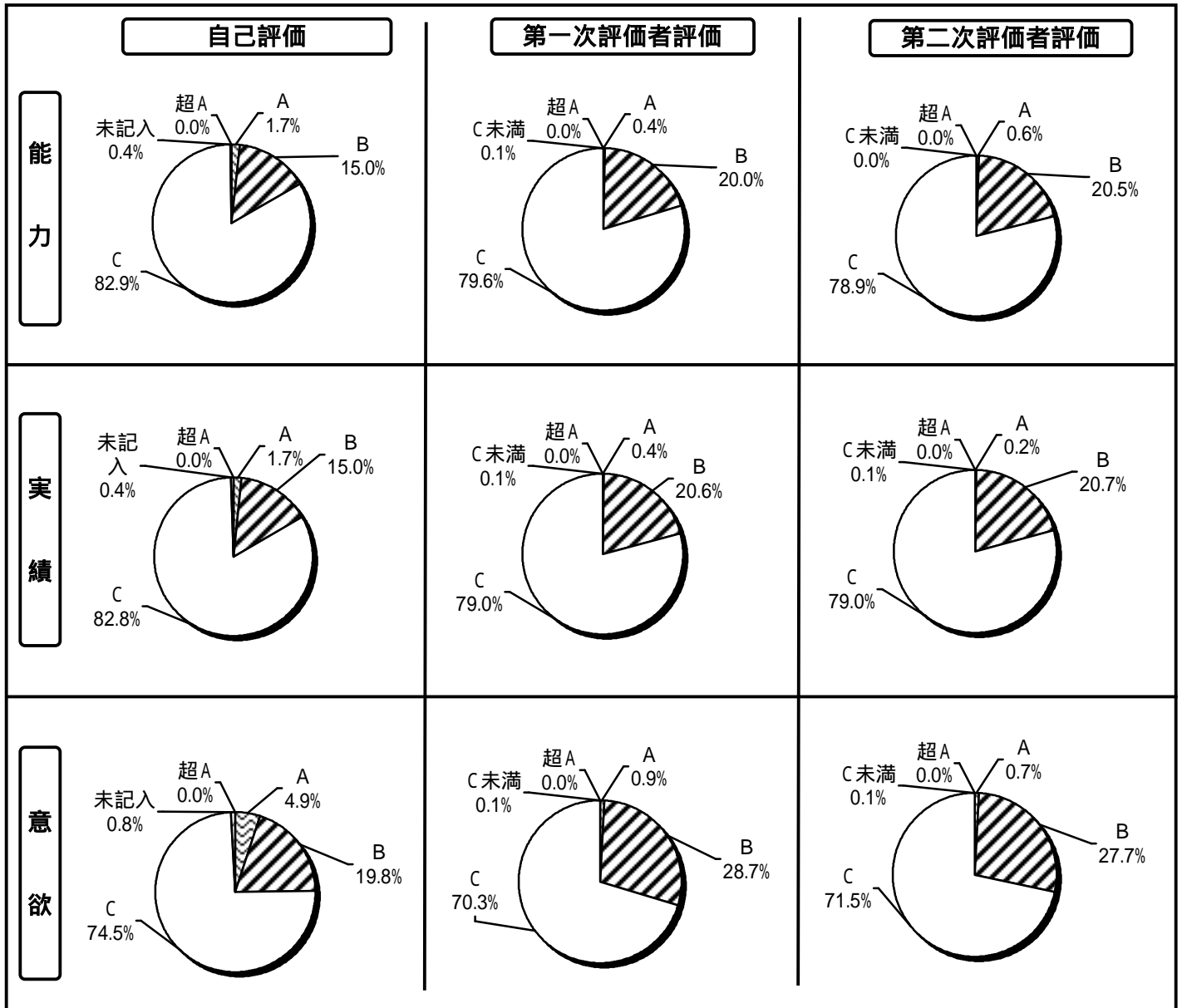


平成16年度教職員評価制度試行における評価結果

評価結果

区分 段階 項目	自己評価					第一次評価者評価					第二次評価者評価				
	超A	A	B	C	未記入	超A	A	B	C	C未満	超A	A	B	C	C未満
能力	0	51	449	2,483	12	0	12	577	2,299	2	0	17	615	2,362	1
実績	0	52	449	2,481	13	0	11	595	2,282	2	0	7	620	2,365	3
意欲	0	54	216	814	9	0	9	304	744	1	0	8	303	781	1

グラフ凡例



全体として

最も多い段階評価は「C」であり、自己評価、第一次・第二次評価者評価とも七割以上が、一般の段階である「C」に集中している。

評価項目間の違い

「A」「B」の段階評価が多いのは「意欲」の評価項目である。

評価者間の違い

第一次評価者と第二次評価者の評価結果の相違は、各評価項目、各段階評価ともに1.0ポイント以下であり、どちらの評価者もほぼ同様の尺度で評価を行っている。また、評価者評価における「C」未満は、第一次評価者、第二次評価者ともに共通の職員に対する評価結果である。

自己評価と評価者評価の相違が最も大きいものは、意欲の項目の「B」段階評価である。